

立川市民オペラ公演2020

ジャコモ・プッチーニ作曲 歌劇「トゥーランドット」

公演日 令和2年3月21日(土)、22日(日)



2019年6月 発行
立川市民オペラの会
〒190-0022
立川市錦町3-3-20
たましんRISURUホール
(立川市市民会館)2階
(公財)立川市地域
文化振興財団 内
TEL042-526-1312
FAX042-525-6581



【オペラのいろは】
プッチーニってどんな人？



立川市民オペラ

合唱団より

4月から「トゥーランドット」の音楽稽古が始まりました。照屋博史先生と栗林瑛利子先生、宮崎京子先生に指導していただき、第一幕、二幕の音取りが終わり、第三幕の稽古に入ったところです。立川市民オペラ合唱団では、このオペラは2回目の演奏となります。1回目2011年の練習開始ころに東日本大震災があり、地震直後は練習会場が使えなかったことを思い出しました。さて、「トゥーランドット」は音楽的に難しく、各パートなかなか大変です。しかし、迫力あるこのオペラを、激しい感情を込めて声にすることに快感を覚えます。前回以上の公演になるよう、頑張りたいと思います。

立川管弦楽団より

2020年立川市民オペラ「トゥーランドット」は立川管弦楽団が管弦楽を担当いたします。2012年の公演以来8年ぶりの演奏となりますが、経験のある楽



立川オペラ愛好会より

今年のガラコンサートは9月8日(日)14時より、たましんRISURUホール大ホールにて開催されます。内容は2部構成で、第一部は「イル・トロヴァトーレ」ハイライト、第二部は「ファウスト」ハイライトです。素晴らしいキャストによる夢の饗宴をお楽しみください。チケット好評発売中です。



全席指定
SS席¥5,000/ S席¥3,500
A席¥2,500/ B席¥2,000
問合: 042-526-1311
(たましんRISURUホール)

【公開】ソリスト・オーディション

「トゥーランドット」公演のオーディションを行います。日程: 7月17日(水)、19日(金) 会場: たましんRISURUホール 大ホール

ジャコモ・プッチーニはイタリアの作曲家で、作品には「トスカ」「蝶々夫人」「ラ・ボエーム」等が数多く上演されています。宗教音楽家の家系であったことから最初は教会のオルガンリストを志していましたが、ジュゼッペ・ヴェルディのオペラ「アイーダ」の上演に接しオペラ作曲家を目指すようになりました。ヴェルディ亡きあとは19世紀から20世紀初頭のイタリアオペラにおいて音楽史上最高の作曲家と言われるほどです。

今回公演の「トゥーランドット」は最晩年の作品で、王子カラフを慕う召使いリユーが自刃した場面以降は、プッチーニが病死の為未完、遺された23ページにわたるスケッチをもとに友人フランコ・アルファーノによって補筆され完成した作品でプッチーニの最後のオペラとなりました。

しっとくNAVI

連載「オペラがますます面白くなる！」

トゥーランドットと言えば、王子カラフのアリア「誰も寝てはならぬ」。ルチアーノ・パヴァロッティが歌い、世界的なセールスを記録し、オリンピックや万国博覧会などの式典でも歌われます。更にはクラシック以外の様々な分野の歌手にも歌われています。

北京の街には、トゥーランドット姫から「誰も寝てはならぬ。死刑に処せられると思え。あの見知らぬ者の名が朝の前に明らかにされねば。」とのお触れが。姫との結婚に想いを馳せる王子はアリアを歌います。でも途中の「彼の名前は誰も知らないでしょう。私たちは、死ぬのね！」との民衆の恐怖にお気づきですか。素敵なアリアはわがまま、姫の恐怖支配下、姫への想いだけの能天気男のアリアでした。(H.S)

「立川市民オペラ」で検索！

【HP】 <https://tachikawaoperaassociation.jimdo.com/> 【Facebook】 <https://www.facebook.com/tachikawacitizenopera/>
メールでのお問い合わせは opera@tachikawa-chiikibunka.or.jp (事務局)